

渚西中だより

令和8年1月7日(水) 第5号
枚方市立渚西中学校
校長 野口 明郎

校訓『自律・協調・努力』

令和8年(新たなステージへの助走)がスタートしました

令和8年を迎えました。この3学期は、4月に迎えるそれぞれの新たなステージに向けた、大切な助走となる学期となります。それぞれが迎える新たなステージで、大きく羽ばたくためには、必ず準備が必要です。

昨年、MLBのワールドシリーズ連覇に貢献した、大谷翔平選手は高校時代、**夢を叶えるために必要な要素を書き出した「目標達成シート」**を作成していました。そこには技術だけでなく、挨拶やゴミ拾いといった「運」を呼び込む準備までもが記されていました。今の彼の輝きは、**特別な才能だけでなく、目に見えない地道な準備の積み重ねがあります。**すべての皆さんが**新たなステージで飛躍し、なりたい自分を実現するために、3学期は「今できる準備」に全力で取り組んでください。**

保護者の皆さまには、今年度も、残り少しとなりましたが、生徒たちにとって、安全・安心の確保や進級・進学に向けた取り組みに対し、引き続き、私も教職員も全力で臨んでまいりますので、各ご家庭におかれましても、本校教育に対し、ご理解・ご支援いただけますようお願いいたします。

本校のブログでも学校の様子や情報を発信しています

【始業式での校長からの話の概略を紹介させていただきます】

幸せへの近道は、誰かのために動くこと

新年、明けましておめでとうございます。お正月に皆さんの幸せを祈りながら、ふと

「幸せになるためには、具体的に何をすればよいのだろう」と考えました。

箱根駅伝で懸命に走る選手たちの姿にヒントを探し、さらにはAIにも意見を聞いてみました。そこで**心に響いたキーワードが「人のための行動」**です。

実は、**人間が誰かのために行動するとき、脳内では「オキシトシン」という幸せホルモンが分泌**されます。これは別名**「思いやりホルモン」**や**「幸せホルモン」**とも呼ばれ、親切にした側・された側の両方の脳に溢れ、**ストレスを和らげ、幸福感を与えてくれます。**つまり、**誰かのために動くことは、相手を助けると同時に、自分の心に「幸せの貯金」をしているのと同じ**なのです。

このことは社会に出ても通じることです。世の中の便利な発明品はすべて、**誰かの「困った」を解決したいという想いから生まれました。**「誰かの役に立つこと」が価値となり、感謝のしるしとして自分に返ってきます。

この3学期、**身近なところで「誰かの役に立てるチャンス」を探してみてください。**友人を手助けする、係の仕事を工夫する…。その一歩が信頼を生み、自分の居場所をより良いものに変えてくれます。**「何になりたいか」だけでなく「誰の、どんな役に立ちたいか」。**その視点こそが、**皆さんを幸せへと導く羅針盤**になるはずです。

